

# S I D R

## 滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第4巻第26号

第26週(6月21日~6月27日)

発行年月日:平成16年(2004年)7月2日

発行:滋賀県立衛生環境センター内

滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

### 1) 全数報告の感染症(1類~5類)

感染症類型	疾患名	報告数 (26週)	累積報告数		平成15年報告数	
			滋賀 (26週)	全国 (26週)	滋賀	全国 <sup>(*)</sup>
1類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
2類感染症	細菌性赤痢	0	5	229	7	459
	腸チフス	0	1	30	0	60
	パラチフス	0	0	39	0	38
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0	4	857	8	2635
4類感染症	E型肝炎 <sup>(*)</sup>	0	1	10		
	オウム病	0	1	27	1	44
	ツツガムシ病	0	0	91	2	380
	レジオネラ症	0	0	62	1	143
5類感染症	アメーバ赤痢	1	5	283	3	504
	ウイルス性肝炎	0	1	146	3	634
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	78	3	115
	ジアルジア症	0	1	35	0	99
	後天性免疫不全症候群	0	3	487	8	949
	梅毒	0	2	238	2	493
	破傷風	0	1	38	1	69
	急性脳炎	0	0	34	0	98

\*1:平成15年報告数の全国報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています。

\*2: " 感染症法の改正前のためE型肝炎のみの集計はされていません。

### 2) 定点把握の対象となる5類感染症

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								前週との比較(定点当たり患者数)
	県	大津	草津	水口	八日市	彦根	長浜	今津	
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
咽頭結膜熱	1.33	4.71	0.33	1.50	0.20	0.25	0	0.50	
A群溶連菌咽頭炎	0.64	0.14	0.33	1.25	1.60	0.50	0.40	0.50	
感染性胃腸炎	2.30	5.00	3.83	0.50	0	0.50	0	7.00	
水痘	1.36	1.43	1.00	0.75	1.00	1.50	2.60	1.00	
手足口病	0.24	0	0.67	0	0	0	0	2.00	
伝染性紅斑	0	0	0	0	0	0	0	0	
突発性発疹	0.70	1.43	1.17	0	0.60	0.25	0.40	0	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
風しん	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	1.79	2.43	2.67	1.25	1.40	0.75	0.60	4.00	
麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎	0.85	0.71	0	1.50	0	0.75	2.80	0	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0.14	1.00	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0.57	1.00	0	0	0	0	3.00	0	
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
成人麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0	

全国集計などの詳細な集計結果は、国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>)において公表されています。

### 3)今週のトピックス

#### 咽頭結膜熱の発生に地域的な偏り

定点把握の対象となる5類感染症の発生状況は、先週(6月14日～6月20日)の報告数より減少しています。咽頭結膜熱、流行性耳下腺炎およびマイコプラズマ肺炎の発生は先週より増加していますが他の大部分の疾患については減少しています。

**咽頭結膜熱**については、定点当たり患者数が1.33となり先週より増加しています。特に**大津保健所管内**においては4.71となり先週に引き続き多くなっています。また、**水口保健所管内**の定点当たり患者数も1.50と多くなっており今後の発生動向に注意する必要があります。

#### <咽頭結膜熱のミニ知識>

- ・プールで感染することもあるので、プール熱とも呼ばれています。
- ・感染経路は飛沫感染ですが、**プールでは結膜からの感染や経口的な感染もあります。**
- ・病原体はアデノウイルスです。
- ・症状は発熱、頭痛、食欲不振、全身倦怠感、咽頭痛、結膜充血、眼脂などです。  
\* **アデノウイルス7型**による場合は、肺炎などの重篤な症状となることもあります。
- ・治療は対症療法(脱水症状を防ぐなど)が中心です。
- ・**予防**としては患者のタオルなどを共用しない、うがいや手指の消毒、水泳前後のシャワー、プールの水の消毒などが大切です。

**流行性耳下腺炎**については、定点当たり患者数は先週よりわずかに増加し0.85となっていますが、**水口、長浜保健所管内**で急増しており定点当たり患者数はそれぞれ1.00、2.80と多くなっています。

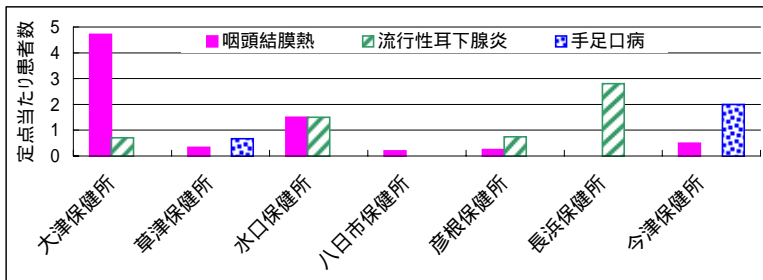
**手足口病**については、昨年の同時期の定点当たり患者数1.84よりかなり少なく0.24となっていますが、**今津保健所管内**においては2.00と多くなっています。

#### 定点当たり患者数:

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、一週間を単位として一つの定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。  
例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。

\* 疾患により定点数は異なります。

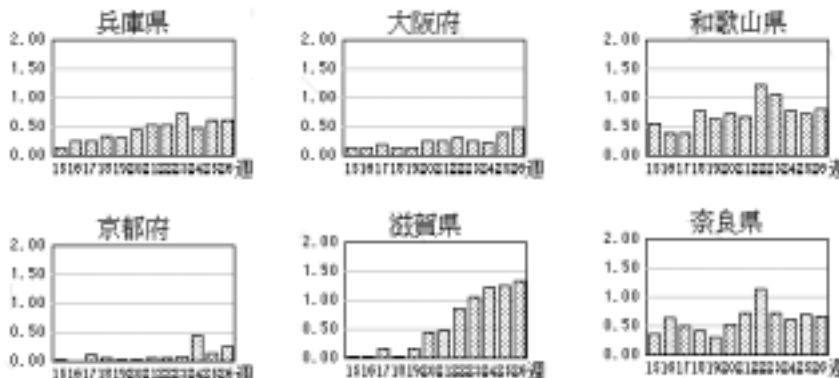
#### 咽頭結膜熱、流行性耳下腺炎、手足口病の保健所管内別発生状況(平成16年第26週、H16.6.21～)



第26週の発生状況についてみると、咽頭結膜熱はほぼ県内全域で発生していますが、特に大津保健所管内の定点当たり患者数が多くなっています。

また、流行性耳下腺炎は長浜保健所管内で多くっており、手足口病は今津保健所管内で多くなっています。

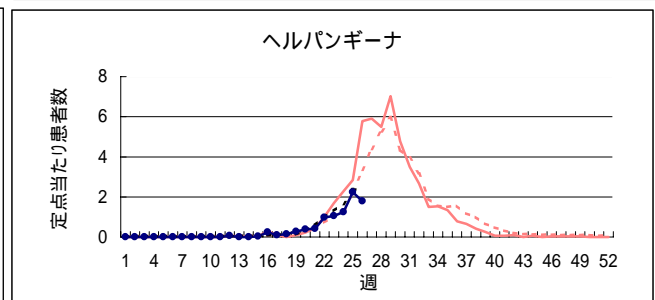
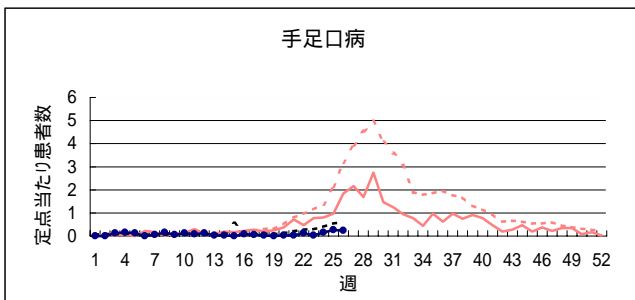
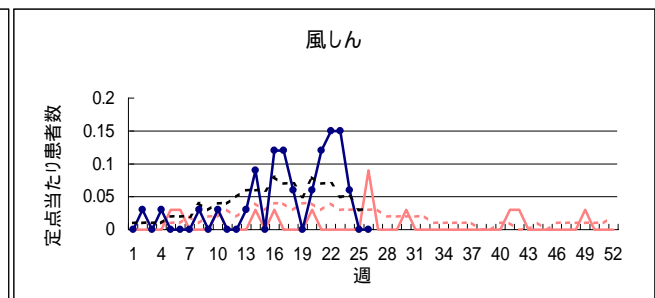
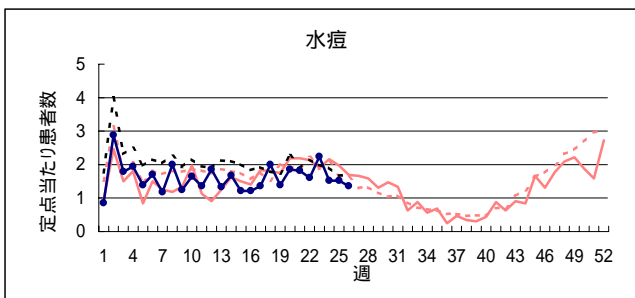
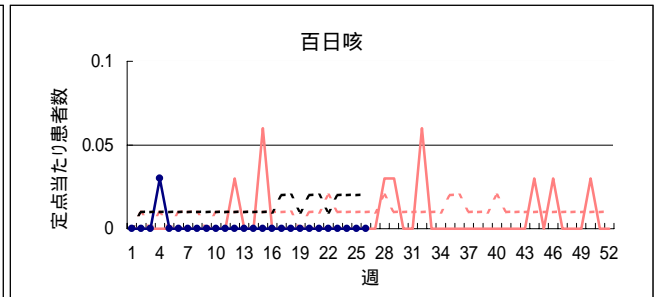
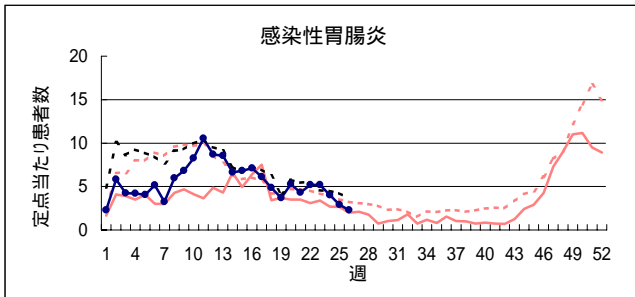
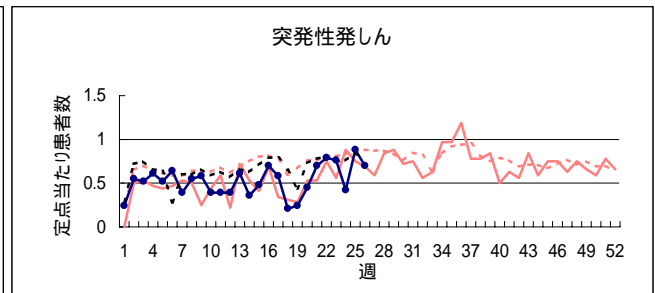
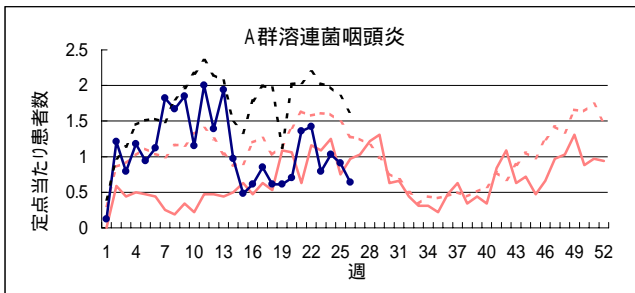
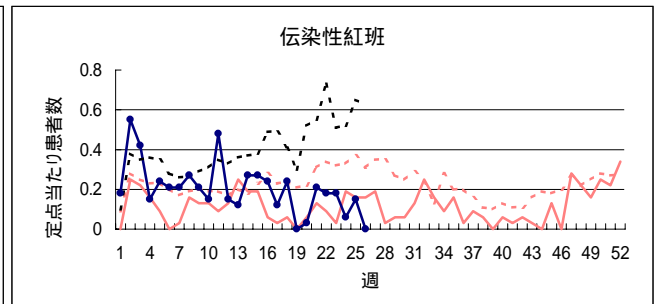
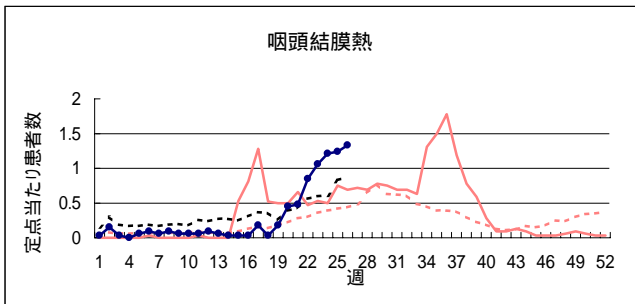
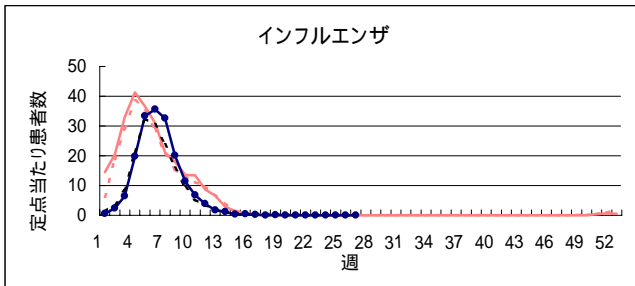
#### 他府県における咽頭結膜熱の発生状況(平成16年第15週～第26週、H16.4.5～H16.6.27)



滋賀県近隣の他府県における咽頭結膜熱の発生状況についてみると、和歌山県、奈良県においてやや多くなっています。

また、全国の定点当たり患者数についてみると、富山県 2.03、新潟県 1.85、福井県 1.82、埼玉県 1.58、福島県 1.54となっています。

# 疾病別定点当たり患者数(平成16年第1週～第26週、H15.12.29～H16.6.27)



# 疾病別定点当たり患者数(平成16年第1週～第26週、H15.12.29～H16.6.27)

H15 [ 滋賀 ———— 全国 ..... ]  
 H16 [ 滋賀 ●——● 全国 ..... ]

